

医療用品 06 視力表及び色盲検査表  
 一般医療機器 特殊視力検査装置 JMDNコード:70973000

## コーワ AVC70

### 【形状・構造及び原理等】

(外観写真)



- 1, 構成  
コーワ AVC70 は、本体のみで構成されています。
- 2, 体に接触する部分の組成  
外装カバー(見口カバー) 合成樹脂  
レンズ切替ノブ 合成樹脂  
検査切替ノブ 合成樹脂
- 3, 電磁両立性  
本製品は、JIS T 0601-1-2:2002 に適合しています。
- 4, 電氣的定格  
入力相数 交流単相  
周波数 50Hz 又は 60Hz  
入力電圧 100V  
消費電力 10VA
- 5, 機器の分類  
1) 電撃に対する保護の形式  
クラス 機器  
2) 電撃に対する保護の程度による装着部  
B 形装着部
- 6, 寸法及び質量  
245 mm(W) × 325 mm(D) × 370 mm(H)  
7 kg
- 7, 作動動作原理  
被験者は、左右の接眼レンズを通して背面の光源により照明された内部の視標を見る。検査切替ノブで4組の視標を交換することにより、右眼視力、左眼視力、両眼視力の測定および立体視、眼位の検査が可能である。接眼部でレンズおよびプリズムの組み合わせたレンズ部を切替えて視標の像として5m、50cm、33cmに結像させることにより、遠近の視力の測定が可能となる。さらに5m視標を+0.5D負荷した条件に設定して遠視の検査も可能にしている。AC100V電源を、本体のACコードより挿入し、電源スイッチを押すと視標が照明され検査および測定ができる。

### 【使用目的・効能又は効果】

光学的に遠方及び/又は近方の視標を提示し、視力検査を行うために使用する。また、視機能検査を行うために使用する。

### 【品目仕様等】

主な仕様

- 1, 検査距離 5m、50cm、33cm、遠視
- 2, 視標 ランドルト氏環  
視力 0.1~1.0(0.1ステップ)1.2,1.5
- 3, 視標の明るさ 260cd/m<sup>2</sup>

詳細は「取扱い説明書」の「5、仕様」を参照のこと。

### 【操作方法又は使用方法】

- 1, 装置を適当な高さの机又は、光学台に設置する。
- 2, 電源コードを100Vのコンセントに差し込み、電源スイッチをONにする。
- 3, レンズ切替ノブにて、検査距離(5m、50cm、33cm、遠視)を選択する。(眼位検査の場合は5mのみ)
- 4, 検査切替ノブで、右眼、左眼、両眼(立体視)、眼位のいずれかを選択する。
- 5, 視力検査の場合は、表示されたランドルト氏環の切れ目方向を被検者に答えさせ、その可否によって視力を検査する。
- 6, 立体視の場合は、絵のそれぞれの奥行きを被検者に答えさせ、その返答によって立体視を検査する。
- 7, 眼位の場合は、視標(矢印)が目盛のどこにあるかを被検者に答えさせ、その返答によって眼位を検査する。

詳細は「取扱い説明書」の「3、視力計の操作方法」を参照のこと。

### 【使用上の注意】

(一般的な注意事項)

- 1, 熟練した者以外は機器を使用しないこと。
- 2, 機器を設置する時は、次の事項に注意すること。  
水のかからない場所に設置すること。  
気圧、温度、湿度、風通し、日光、ホコリ、塩分、硫黄分を含んだ空気等により悪影響を生じる恐れのない場所に設置すること。  
傾斜、振動、衝撃(運搬時を含む)等の安定状態に注意すること。  
化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置しないこと。  
電源の周波数と電圧及び許容電流値(又は消費電力)に注意すること。  
アースを正しく接続すること。
- 3, 機器を使用する前は、次の事項に注意すること。  
スイッチの接触状況、視標ランプの点灯、指標ダイヤル、距離ダイヤルの点検を行い、機器が正常に作動することを確認すること。  
アースが完全に接続されていることを確認すること。  
全てのコードの接続が正確で、かつ完全であることを確認すること。

取扱説明書を必ずご参照下さい

機器の併用は正確な診断を誤らせたり、危険をおこす恐れがあるので充分注意すること。

患者に直接接続する外部回路を再点検すること。

- 4、機器の使用中は、次の事項に注意すること。  
診断治療に必要な時間、量を越えないようにすること。

機器全般及び患者に異常のないことを絶えず監視すること。

機器及び患者に異常が発見された場合には、患者には安全な状態で機器の作動を止めるなどの適切な措置を講ずること。

機器に患者が触れることのないように注意すること。

- 5、機器の使用後は、次の事項に注意すること。  
定めた手順により操作スイッチ、ダイヤル等を使用前の状態に戻したのち電源を切ること。

コード類の取り外しに際しては、コードを持って引き抜くなど無理な力をかけないこと。

コード導子等は清浄したのち整理してまとめておくこと。

機器は、次回の使用に支障のないように必ず清浄しておくこと。

故障した時は、勝手にいじらずに適切な指示を行い、修理は専門家にまかせること。

機器は改造しないこと。

取扱説明書に書かれている注意事項を熟読し、遵守すること。

- 6、使用環境

- 1) 温度 10 ~ 40
- 2) 湿度 30% ~ 75%
- 3) 気圧 700hPa ~ 1060hPa

(当該装置固有の基本的注意事項)

試験を実施する際には、本装置が倒れたりしないように注意して下さい。

【被験者が負傷する恐れがあります】

(その他の注意事項)

この装置を廃棄する場合は、産業廃棄物となります。必ず地方自治体の条例・規則に従い、許可を得た産業廃棄物処分業者に廃棄を依頼して下さい。

その他「取扱説明書」の1頁～5頁を熟読し、遵守すること。

#### 【貯蔵・保管及び使用期間等】

- 1、貯蔵方法は、使用上の注意を参照。
- 2、有効期間(耐用年数)は、正規の保守点検を行った場合に限り5年間です。(自己認証〔当社データ〕による)
- 3、環境条件
  - 1) 温度 - 15 ~ +60
  - 2) 湿度 10% ~ 95% (結露なきこと)
  - 3) 気圧 700hPa ~ 1060hPa

- 4、保管場所については次の事項に注意すること。

- 1) 水のかからない場所に保管すること。
- 2) 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ホコリ、塩分、硫黄分を含んだ空気などにより悪影響を生じる恐れのない場所に保管すること。
- 3) 傾斜、振動、衝撃(運搬時を含む)など安定状態に注意すること。
- 4) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。

#### 【保守点検に係る事項】

(使用者による点検事項)

- 1、電源ケーブルに傷、破損がないことを目視で確認する。
- 2、外装および見口に、汚れ、傷、破損、変形、錆がないことを目視で確認する。
- 3、チャート図が保管されていることを目視で確認する。
- 4、銘板、ラベルに剥がれ、汚れがないことを目視で確認する。
- 5、左右のレンズ切替ノブを両手で持ち、左手は固定で右手で軽く回転させる力を加え、切替ノブの取付けに緩みがないことを確認する。  
検査切替ノブについても同様の手順で確認する。
- 6、電源をONにして、レンズ切り替えノブを回し、見口から視標を見て、ケラレや影等の異常がなくレンズが切り替わることを確認する。
- 7、電源をONにして、検査切替ノブを回し、見口から視標を見て、ケラレ、影、視標の浮き、視標の照明ムラ等の異常がなく視標が切り替わることを確認する。

(保守点検に係るその他の注意事項)

- 1、医用機器の使用・保守の管理責任は使用者側にあります。
- 2、始業・終業点検、定期保守点検は必ず行って下さい。
- 3、しばらく使用しなかった機器を再使用する時は、使用前に必ず機器が正常かつ安全に作動することを確認すること。
- 4、なお、使用者自ら定期点検ができない場合は、弊社サービス部門が受託することができます。

詳細は「取扱説明書」の4「保守と点検」を参照のこと。

#### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

(製造販売業者)

興和株式会社 電機光学事業部  
東京都中央区日本橋本町 3-4-14  
TEL (03)3279-7334  
FAX (03)3279-5541

(製造業者)

株式会社 サンテック  
興和株式会社 浜松工場